



学 び 舎

城山小学校だより第6号

令和6年6月13日

文責 荒木 浩雄

生産者との交流会①

6月3日(月)に3年生が体育館にキャベツ農家の本校PTA会長の三原さんとJA熊本市キャベツ部会長の宮川さんをお迎えしてキャベツについてお話をいただきました。城山校区はキャベツの産地指定を受け、学校給食の食材として使用されています。その城山小学校区内の農家の数は57軒、農業従事者の平均年齢は65歳(2020年現在)、との実情やキャベツの原産はオランダであり、日本名は「かんらん」であること、江戸時代に日本に入り明治時代から食卓に並ぶようになった等、歴史も含めキャベツについて分かりやすく説明していただきました。講師の方々からは「気になること、何でだろうと思ったことを自分で調べてほしい。」「給食には、どのくらいの野菜が入っているか確認しながら食べるのもよいかもしれません。」とのお話もありました。これから3年生は、総合的な学習の時間を使って様々な疑問を解決しながら学びを深めていきます。



生産者との交流会②



6月6日(木)、4年生が体育館で大豆生産者の方々にお話をいただきました。講師として秋津営農組合の上田さんと木原さんを講師にお招きして開催しました。講師の方々からは、大豆収穫までの大まかな流れ、紙袋に入れて温度の低いところであれば、1~2年の保存が可能だが、大豆は家の光が苦手なため家で育てるのは難しいことや商品の見分け方としてそこが丸いものの方がいい商品であること等わかりやすく説明していただきました。今回の話を受け、4年生では、総合的な学習の時間を使って、大豆についての疑問や知りたいこと等から課題を設定し、それぞれの課題を探究していく学習に入ります。今回の話を受けて子どもたちは様々な思い、知りたいこと等を見出してくれたと思います。

【お願い】

自治会からのお願いです。小伝木公園利用について、自治会から西区土木センターに相談し注意看板を設置していただきましたが、硬いボールなどが道路に飛び出したり近隣の家飛び込んだりしているとのこと。公園利用者及び近隣住民の方々にご迷惑をかけず、安全な利用ができるように心がけていただきますようご家庭でもお話しいただきますようよろしくお願いいたします。

その課題を解決するにはどのように調べたらよいか。また、調べていくうちに新たな課題を見出した場合には、さらに答えを探っていくように学びを深め、

元気アップタイム

6月12日（水）～16日（日）の元気アップ週間について、12日（水）の元気アップタイムで取り組み内容等説明がありました。自分の食生活や生活習慣を振り返り、改善、継続していくことを目的としています。早寝、早起き、朝ごはん、運動（手伝い）、排便、歯磨き、テレビ・ゲーム・スマホ等の使い方について子どもたち自らが毎日の生活を点検していきます。どのような結果になるのでしょうか。最終日に持ち帰ります。お子様の点検結果をご覧になり、励ましのコメント等記載してください。